

所属名	事務事業名	ページ番号
契約監理課	物品調達事務事業	2
契約監理課	工事検査業務	3
契約監理課	入札契約事務	4

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	物品調達事務事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	契約監理課 調達係	担当課長名	山口 和海
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	公有財産の適切な取得・管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	各部署において事務事業を実施する上で必要とする物品（備品、被服、印刷物、ゴム印及び報償物品）の調達に関する契約事務				
事業の対象者	市が発注する物品を受注する登録業者（市の入札に参加可能な業者）				
令和2年度主な活動実績	令和2年度契約実績 1,242件 内訳：備品682件（一般642件、備品40件）、被服75件、印刷388件、ゴム印71件、報償物品26件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,820				
うち佐賀市の負担額	3,628				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市が発注する物品等の契約件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,242	1,250	1,250	1,250	1,250		

成果指標②						単位
単価契約物品（文具消耗品）におけるグリーン購入基準を満たす物品の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95	95	95	95	95		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
最小経費で最大効果を生む物品の調達に加え、グリーン購入法による環境配慮型物品や木材利用促進法による間伐材入り商品の購入が求められてもいることから、調達事務を通して、環境、森林整備、地域経済の振興など市の各種政策を横断的に支援する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	工事検査業務	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	契約監理課 技術監理係	担当課長名	山口 和海
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち	
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進	
	基本事業	公有財産の適切な取得・管理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	130万円以上の公共工事において、工事目的物が契約図書に定められた出来形や品質等を確保して、発注者として成果物を受け取り工事の完了を確認する。また、工事成績評定を行うことにより、施工者の適正な選定及び指導育成、工事に関する技術水準の向上に資する。				
事業の対象者	130万円以上の公共工事				
令和2年度主な活動実績	工事検査総数494件、成工検査数405件（内評定件数286件）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,081				
うち佐賀市の負担額	1,081				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
検査時指摘数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5	3	2	1	0		

成果指標②						単位
工事成績評定平均点						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
76.2	76.5	76.8	77	77		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市の監督員や市内の工事指名登録業者を対象に、契約・検査の説明会を毎年1回別々に開催している。評定80点以上の優良工事は、ホームページ上で公開し、70点未満については、文書にて指導・警告等を行っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	入札契約事務	事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	契約監理課 契約係	担当課長名	山口 和海	
総合計画における位置づけ	政策	効果的・効率的で信頼される行政経営が行われているまち		
	施策	33効果的・効率的な行政経営の推進		
	基本事業	公有財産の適切な取得・管理		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事及び建設関連業務委託の入札の執行と契約締結事務を実施している。 ・より効率的で透明性の高い電子入札の実施率の向上を図ることが必要であるとする。 ・平成18年度から電子入札を実施し、平成23年度からは新システムによる電子入札を開始した。 ・これと並行して、平成20年度から試行してきた最低制限価格制度を、平成25年度から本格実施に移行した。 				
事業の対象者	市の発注工事等を受注する登録業者（市の入札に参加可能な業者）				
令和2年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度契約実績（随意契約を除く） 建設工事：310件、うち紙入札1件、建設関連業務委託：223件、うち紙入札0件 合計：533件、うち紙入札1件 ・最低制限価格の設定 建設工事：予定価格の92%、建設関連業務委託：予定価格の85% 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,545				
うち佐賀市の負担額	9,545				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
指名競争入札等による入札の落札率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
94.59	92	92	92	92		

成果指標②						単位
電子入札の実施割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
99.81	99	99	99	99		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
・電子入札は、利便性の向上及び入札の透明性の確保に寄与しているため、今後も実施率の高水準を維持し、安定稼働に努めていく。